

■ニーズ調査について

(1) 調査概要

■調査の目的

平成 26 年度に行う善通寺市子ども・子育て支援事業計画の策定資料として、教育・保育へのニーズや子育て支援サービスの利用状況・利用意向の把握、また、子育て世帯の生活実態、意見・要望などを収集することを目的とします。

■調査範囲

善通寺市内全域

■調査期間

平成 25 年 11 月中旬～（配布・回収期間は、およそ 2 週間から 3 週間程度）

■回収の見込み

回収は 65%程度を見込む（前回実績 62%）

■調査対象区分及び配布数・配布方法

調査対象区分	配布数	配布方法
①就学前児童（0～5 歳児）保護者	1,000	保育所や幼稚園を通しての配布・回収（一部郵送）
②小学生児童（1～3 年生）保護者	1,000	学校を通しての配布・回収（一部郵送）

(2) 調査設問項目の整理

■就学前児童保護者対象の設問項目（案）

	設問項目	国	前回	H25	今回	分析方法
対象者の属性 家族の状況	地区	◎	○		○	クロス集計で活用する
	生年月日	◎	○		○	
	きょうだいの数、末子の生年月	○	○		○	
	回答者	◎	○		○	
	配偶関係(同居者)	◎			○	
	子育て(教育含む)を行う人	◎	○		○	
	地区	◎	○		○	
子育て環境	子育て(教育含む)に日常的に関わる人	○			○	子育て環境の状況を把握
	子育てに影響する環境	○			○	
	子どもを預かってもらえる友人・知人の有無	○	○		○	
	※祖父母等に預かってもらっている状況	○	○		○	
	※知人に預かってもらっている状況	○	○		○	
	相談できる人・相談場所の有無	○	○		○	
	※相談先について	○	○		○	
	子育てをする上でのサポートについて	○			×	
保護者の就労状況について	母親の就労状況	◎	○		○	保護者の就労状況を把握
	※母親の就労日数と就労時間	○	○		○	
	※母親の家を出る時間と帰宅時間	○	○		○	
	父親の就労状況	◎	○		○	
	※父親の就労日数と就労時間	○	○		○	
	※父親の家を出る時間と帰宅時間	○	○		○	
	※就労者のフルタイム転換希望	◎	△		○	
	※未就労者の就労希望	◎	△		○	
日中の定期的な保育・教育事業の利用について	定期的な教育・保育の利用の有無	◎	○		○	平日日中の保育・教育事業の利用⇒事業量算出
	※利用している事業内容	◎	○		○	
	※利用日数、利用時間(現状と希望)	◎	○		○	
	※利用している理由	○	○		○	
	※利用していない理由	○	○		○	
	今後利用したい教育・保育の事業	◎	○		○	
	利用したい場所(市内・市外)	○			○	
地域子育て支援事業について	地域子育て支援拠点事業の利用状況	◎	○		○	地域子育て支援事業の利用⇒事業量算出
	地域子育て支援拠点事業の利用意向	◎	○		○	
	子育て支援事業の認知度、利用意向	○	○		○	
休日保育について	休日保育の利用状況について	◎	○		○	休日保育事業の利用について把握⇒事業量算出
	※たまに利用したい理由	○			○	
	幼稚園の長期休み中の教育・保育事業の利用希望	◎			○	幼稚園園児の預かり保育の利用状況や今後のニーズについて把握⇒事業量算出
	※たまに利用したい理由	○			○	
病気の際の対応について	病児・病後児保育の利用状況について	◎	○		○	病児・病後児保育の利用について把握⇒事業量算出
	支援等を利用できなかった際の対処法	◎	○		○	
	※病児・病後児保育の利用希望	◎	○		○	
	※望ましい事業形態	○			○	
	※利用したくない理由	○			×	
	※父・母親が休んで看護したかったか	○			×	
	※休んで看護できない理由	○			×	
一時預かりについて	一時預かり保育の利用状況について	◎	○		○	一時預かり保育の利用について把握⇒事業量算出
	利用していない理由	○			○	
	一時預かり保育の利用希望	◎	△		○	

	設問項目	国	前回	H25	今回	分析方法
	※望ましい事業形態	○			○	
	宿泊をともなう一時預かりの状況	◎	○		○	
	※困難度	○	○		○	
就学後の放課後や 休日の過ごし方につ いて	放課後の過ごし方	◎	△		○	
	高学年時の放課後の過ごし方	◎			○	
	※休日のスタディーアフタースクールの利用	○			○	
	※長期休暇時の利用	○			○	
仕事と子育てに ついて 育児休業や短時間 勤務制度の利用	父母の育児休業の取得状況、未利用 理由	○	△		×	育児休業の取得状況復帰状 況や、ワークライフバランスに 関する現状を把握
	※育児休業給付や社会保険免除の仕 組みの認知度	○			×	
	※育休からの職場復帰	○	△		×	
	※職場復帰のタイミング	○			×	
	育休の取得期間、取得希望の年齢	○			×	
	3歳までの場合の取得希望の年齢	○			×	
	※希望時期に復帰しなかった理由	○			×	
	※短時間勤務制度の利用	○			×	
	※利用できなかった理由	○			×	
市の子育て全般につ いて	※1歳までの育休取得の希望	○			×	市における子育て支援全体に ついてニーズを把握
	子育てで感じる楽しみや喜び		○		○	
	幼保一体化の考えについて				○	
	市の子育て支援の満足度	○		△	○	
	分野ごとの満足度		○		○	
	子育て全般の状況		○		○	
	特に力を入れてほしいこと		○		○	
	自由回答	○	○		○	

※◎必須の設問、○任意の設問、△詳細内容がやや違う設問、×今回の調査には入れていない設問

■小学生保護者対象の設問項目（案）

	設問項目	国	前回	H25	今回	分析方法
対象者の属性 家族の状況	地区	○	○		○	クロス集計で活用する
	生年月日	○	○		○	
	きょうだいの数、末子の生年月	○	○		○	
	回答者	○	○		○	
	配偶関係(同居者)	○			○	
	子育て(教育含む)を行う人	○	○		○	
	地区	○	○		○	
子育て環境	子育て(教育含む)に日常的に関わる人	○			○	子育て環境の状況を把握
	子育てに影響する環境	○			○	
	子どもを預かってもらえる友人・知人の有無	○	○		○	
	※祖父母等に預かってもらっている状況	○	○		○	
	※知人に預かってもらっている状況	○	○		○	
	相談できる人・相談場所の有無	○	○		○	
	※相談先について	○	○		○	
保護者の就労状況について	子育てをする上でのサポートについて	○			×	保護者の就労状況を把握
	母親の就労状況	○	○		○	
	※母親の就労日数と就労時間	○	○		○	
	※母親の家を出る時間と帰宅時間	○	○		○	
	父親の就労状況	○	○		○	
	※父親の就労日数と就労時間	○	○		○	
	※父親の家を出る時間と帰宅時間	○	○		○	
放課後や休日の過ごし方について	※就労者のフルタイム転換希望	○	△		○	放課後児童健全育成事業の利用⇒事業量算出
	※未就労者の就労希望	○	△		○	
	放課後の過ごし方	◎	○		○	
	※スタディーアフタースクールの利用理由		○		○	
	※スタディーアフタースクールの未利用理由		○		○	
	今後の放課後の過ごし方	◎			○	
	※スタディーアフタースクールの希望理由		○		○	
職業生活と家庭生活の両立について	※スタディーアフタースクールの未希望理由				○	ワークライフバランスに関する現状を把握
	※休日のスタディーアフタースクールの利用	○	△		○	
	※長期休暇時の利用	○			○	
	仕事時間と家事時間の優先度		○		○	
	仕事と子育てを両立するうえで大変なこと		○		○	
	子育てで感じる楽しみや喜び		○		○	
	市の子育て支援の満足度	○		△	○	
市の子育て全般について	分野ごとの満足度		○		○	市における子育て支援全体についてニーズを把握
	子育て全般の状況		○		○	
	特に力を入れてほしいこと		○		○	
	自由回答	○	○		○	

※◎必須の設問、○任意の設問、△詳細内容がやや違う設問、×今回の調査には入れていない設問